

2026年4月13日

日本銀行松山支店

愛媛県金融経済概況

1. 概観

愛媛県の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては持ち直している。

すなわち、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。住宅投資は、弱い動きとなっている。設備投資は、増加している。公共投資は、高水準で推移している。こうした中、生産は、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得環境をみると、緩やかに持ち直している。

先行きについては、今後の中東情勢の展開や原油価格の動向等を踏まえ、当地の金融経済情勢に与える影響を注視していく必要がある。

2. 各論

(1) 需要項目別動向

公共投資は、高水準で推移している。

輸出は、一部に弱い動きがみられる。

設備投資は、増加している。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。

業態・品目別の需要動向

大型小売店販売 (百貨店、スーパー、ドラッグストア等)	底堅く推移している。
コンビニエンスストア販売	底堅く推移している。
家電販売	横ばい圏内で推移している。
乗用車販売	持ち直している。
宿泊・観光施設の入込み	堅調に推移している。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

(2) 生産

生産は、横ばい圏内の動きとなっている。

業種別の生産動向

織	維	横ばい圏内の動きとなっている。
紙	・ パ ル プ	横ばい圏内で推移している。
化	学	弱い動きとなっている。
プラスチック製品		低調に推移している。
非	鉄 金 属	堅調に推移している。
食	料 品	増加している。
はん用・生産用機械		横ばい圏内で推移している。
電	気 機 械	低調に推移している。
輸送機械（造船）		高操業となっている。

(3) 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、緩やかに持ち直している。

(4) 物価

消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、1%台のプラスとなっている。

(5) 企業倒産

企業倒産は、前年を下回った。

(6) 金融情勢

実質預金、貸出金とも前年を上回っている。貸出約定平均金利は、前月比上昇した。

以 上